

サモアの風にふかれて

実践場所	石川県立能登高等学校（石川県）	実践者	高野 勝郎
対 象	地域創造科 1年生		
実践教科	世界史A（全4時間）		
ねらい	○サモアの文化、生活を知り、異文化に対する関心・理解を深める。 ○途上国の生活と自分たちの生活を比較し、豊かさ・幸せについて考える。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1	【サモアにいつてきました】 ・先進国、途上国どっちに住みたい？なぜ？ 途上国ってどんなイメージ？ ・サモアってどんな国？ ・サモアの学び	パワーポイント サモアの楽器、ラバラバ
	2	【学校へ行こう in サモア】 ・サモアの学校紹介クイズ ・サモアの教育の問題点をまとめよう ・発展途上国、先進国ってなんだろう	パワーポイント ワークシート
	3	【衝撃ホームステイ体験】 ・ホームステイ体験クイズ ・サモアのここがステキ&キツイ ・サモアって～～なところ！	パワーポイント アヴァセット ワークシート
	4	【豊かさってなんだろう】 ・日本（サモア）で幸せに生活するためには？ ・GDPと世界幸福度を比べてみよう ・あなたはどんな時に幸せを感じますか？	パワーポイント ラバラバ ワークシート
成 果	・サモアという異文化を通じて、自分たちの恵まれた環境に気づくことができた。しかしサモアが不幸せでは決していないということも理解してもらえた。人生において何が大切かということのを再考する良いきっかけになったと思う。		
課 題	・国際理解教育は数回授業を行って終わりでは意味がない。継続的に行うことが必要であり、身をもって体感し、共感する場面をこれからも作っていきたい。		
備 考	・研修前に町内の中学校で研修に向けての抱負を話し、研修終了後、全校生徒に対して講演を行った。		

授業実践の詳細

1 時限目 ▶▶▶ 「サモアに行ってきました」

ねらい

- ・生徒たちが持っている途上国へのイメージを確認する。
- ・サモアという国がどのような国かを簡単に理解する。
- ・サモアという未知の世界に対しての「知りたい、おもしろい」という興味関心をひき出す。

1 子どもの活動の流れ

- ①先進国、途上国どちらに住みたいかを考え、途上国に対して持っているイメージを書き出す。
- ②サモアがどのような国かをクイズに答えながら知る。(場所、国旗、食事、サモア語、国民性…)
- ③与えられた情報が日本についてのもかサモアについてのもかを区別するワークショップ「サモアの学び」をグループで行う。

例)「携帯電話の所有率が100%」

「男女関係なくスカートをはく」「ゴミ処理は埋め立てが一般的だ」など

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇日本とは全く違うサモアの食生活や大きなサモア人の姿を見て驚きの声をあげていた。
- ◇ラバラバを巻いている私の姿を見て、異文化を感じているようだった。
- ◇「サモアの学び」では、日本の生活を改めて振り返ることができ、サモアと日本の比較をすることができた。

3 使用した教材

〈教材1〉

何のグループ分けだろう？

先進国

- ・アメリカ
- ・イギリス
- ・ドイツ
- ・オーストラリア
- ・カナダ
- ・**日本**

発展途上国

- ・エチオピア
- ・インドネシア
- ・アルゼンチン
- ・アフガニスタン
- ・ケニア
- ・**サモア**

サモアの民族衣装



ラバラバ

…巻きスカートのようなもの、男女関係なし。学校の制服にも採用されている。ラバラバの下は短パンを捲くのが普通。

サモアの学び

- A. 男も女もスカートを巻いている。
- B. 中等教育(中学校)までの就学率は約70%。
- C. どんな仕事にもつける可能性がある。
- D. 親・教師・目上の方に対する敬意が深い。
- E. 携帯電話の普及率が100%。
- F. 英語教育が盛ん。
- G. ゲイの人が多い。
- H. サッカー・野球が一番人気のスポーツだ。
- I. 筆箱にはいろんなペンが入っている。
- J. 毎日遅くまで仕事をしている。
- K. ゴミ処理方法は焼却処理が一般的だ。
- L. ゴミ処理方法は埋め立てが一般的だ。



〈教材2〉



ラバラバと手作りの楽器。
ラバラバを巻いて授業をしたが、女装しているようだと笑われた。楽器は棒で叩くと、高く澄んだ音がした。

2時限目▶▶▶「学校へ行こう in サモア」

ねらい

- ・ サモアの教育の実状を知る。
- ・ 発展途上国、先進国とは何かをサモアの問題点から考える。

1 子どもの活動の流れ

①クイズを行いながらサモアの学校について紹介する。 歓迎ダンスのVTR、授業風景、教材

②クイズを通して知ったサモアの教育の問題点をまとめる。

例) 机、教科書などの物資の不足、体罰・授業のあり方、教員の質、卒業後は多くの学生が家に戻るかオーストラリア・NZへの出稼ぎに出てしまう、など

③発展途上国、先進国という枠組みについて考える。

確かにサモアは貧しい国かもしれないが、自分たちの文化に誇りを持ち、家族・地域のコミュニティを大事に生活している。様々な問題はあるが、もしサモアが日本のように「豊かな」国になった時、果たしてサモアの良いところは残っているだろうか。

2 子どもの活動の成果・反応（生徒の感想から）

◇教科書が足りなかったり、机がボロボロだったり、私たちが当たり前だと思っていることが当たり前ではないということに気がつき、改めて自分たちの生活の豊かさを知ることができた。しかし、サモアには日本にはない良さがたくさんあるから、そこをこれからも残して行ってほしいと思った。

◇サモアは今のままで十分幸せなんじゃないかと思った。

◇優しくていつも笑顔で素敵。家族を一番大切にしているところがすごい。

◇教育に関して日本はとても恵まれている！

◇歌や踊りを人前で堂々と踊っていてすごい。歌声がきれい。

◇机がボロボロや体罰はかわいそうだと思った。

◇ちょっとサモア行ってみたいかも。

◇みんな元気に授業を受けていて、発展途上国への見方が変わった。

3 使用した教材

〈教材1〉



3時限目 ▶▶▶ 「衝撃ホームステイ体験」

ねらい

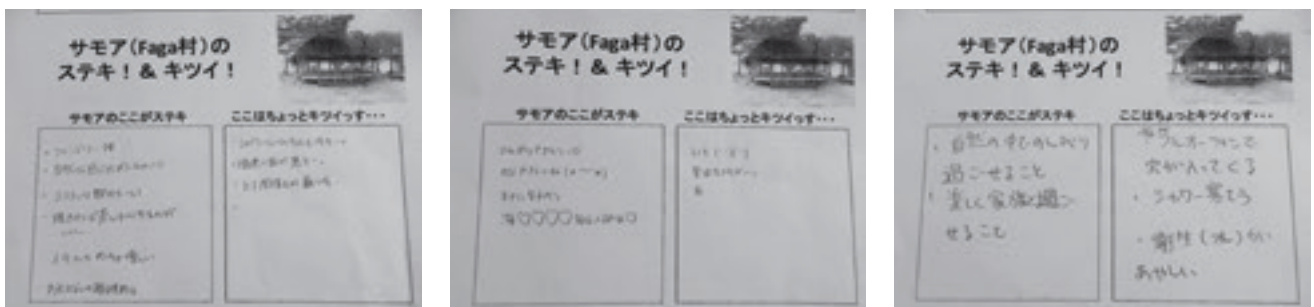
- ・体験、体感してきたリアリティのある話を聞き、異文化に対する関心・理解を深める。
- ・ファガ村での人とのふれあい、つながりを感じる。

1 子どもの活動の流れ

- ①ファガ村でのホームステイ体験をクイズに答えながら学ぶ。
アヴァセレモニー、ファレ、サモアの人気ゲーム、ウム料理、日曜日の過ごし方など
- ②サモアのここがステキ！キツイ！
これまでの授業で感じたサモアの素敵なおとこ、ここはちょっときついというところを書きだす。
- ③サモアって～～なところ！
これまでの授業でサモアという国に対してどのようなイメージを持ったかを「サモアって～～なところ」という形式で答える。

2 子どもの活動の成果・反応（アンケート結果から）

◇サモア（ファガ村のステキ&キツイ）



3 使用した教材

〈教材1〉アヴァセット。実際に水に溶かして臭いをかがせた。
実際にファガ村でプレイしたビンゴ用紙。



〈教材2〉

人生初！ホームステイinファガ村



Q6.この建物はなんでしょう？



4 時限目 ▶▶▶ 「豊かかってなんだろう」

ねらい

- ・日本とサモアそれぞれの「幸せ」について考え、豊かな生き方とは何か、本当の幸せとは何かを考える。

1 子どもの活動の流れ

- ①前回アンケートをとった「サモアのここがステキ&キツイ」と「サモアって～～なところ」を発表する。
- ②日本（サモア）で幸せに生活するために必要なものTOP5を選ぶ。

1 スマホ、2 家電、3 宗教、4 家族との時間、5 趣味、6 のんびり過ごす時間、
7 安定した職業、8 きれいな水、9 お金、10 地域の人とのつながり

10項目から日本・サモアで幸せに生活するために必要なもの5つをランキングにする。

- ③GDP上位国と世界幸福度上位国を比較する。

GDP上位国で世界幸福度上位10カ国に入っている国はなく、逆に世界幸福度上位国でGDP上位10カ国に入っている国はない。あくまで一つの指標に過ぎないが、このことから「経済的な発展」と「幸福」は必ずしも比例する訳ではないということに気づく。

- ④あなたはどんな時に幸せを感じますか？

幸せを感じる出来事を書き出し、その幸せが「物質的な豊かさ」による幸せか「精神的な豊かさ」による幸せかを分類する。ホストファミリーへのアンケートも紹介。

2 子どもの活動の成果・反応（アンケート、感想から）

- ◇サモアのここがステキ…家族と楽しく過ごせる、おもてなしの精神、笑顔がステキ、ご飯が結構うまい、海が最高、人々が優しい、など

ここはキツイ…家に壁がない（プライバシー）、ラーメンがのびている、水道水が飲めない、イモ料理ばかり、体罰、電波なさそう、水シャワー、虫が多そう、衛生面、など

- ◇サモアって～～なところ…家族が仲良く平和、コミュ能力が高い人が多い、人が優しくて自然が多い、ダンスが大好き、など

- ◇日本で幸せに生活するために必要なものTOP5

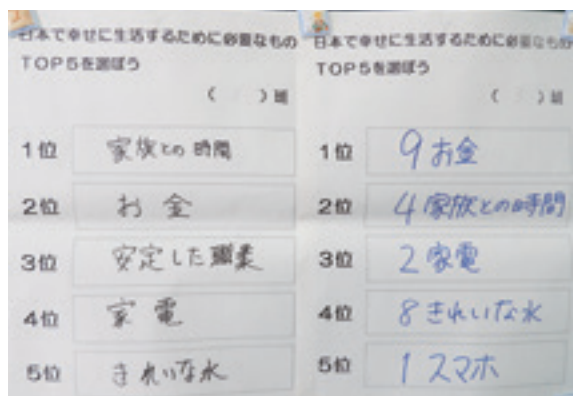
	1班	2班	3班	4班	5班
1位	家族との時間	きれいな水	お金	家族との時間	家族との時間
2位	お金	趣味	家族との時間	友人との時間	のんびり
3位	安定した職業	家電	家電	お金	お金
4位	家電	家族との時間	きれいな水	のんびり	友人との時間
5位	きれいな水	のんびり	スマホ	趣味	きれいな水

3つの班が家族との時間を1位にあげ、他の班も上位にあげた。一方でお金はやはり多くの班が必要だと感じているようだった。意外なことにスマートフォンをランキングに入れた班は1つだけであり、それでも5位だった。しかし、本当に家族との時間を大切にできているかどうかたずねると、皆難しい顔をしていた。

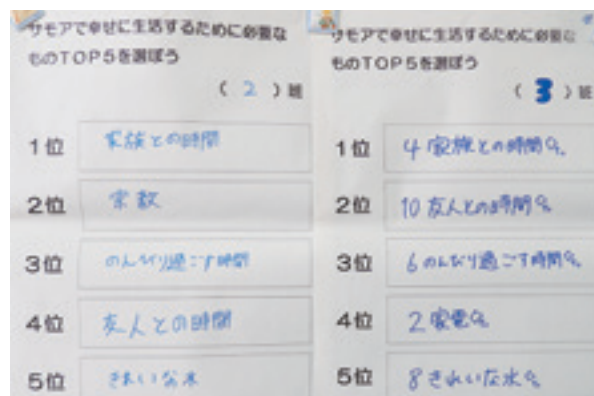
◇サモアで幸せに生活するために必要なものTOP5

	1班	2班	3班	4班	5班
1位	家族との時間	家族との時間	家族との時間	きれいな水	家族との時間
2位	きれいな水	宗教	友人との時間	家族との時間	のんびり
3位	宗教	のんびり	のんびり	友人との時間	お金
4位	友人との時間	友人との時間	家電	のんびり	家電
5位	のんびり	きれいな水	きれいな水	趣味	きれいな水

どの班もTOP3はほとんどが「精神的な豊かさ」を求めたものを上位にあげている。



日本で幸せに生活するために必要なものTOP5



サモアで幸せに生活するために必要なものTOP5

- ◇ ・はじめサモアと聞いたら、貧しそうなイメージで悪いところしかないと思っていたけど、人と人とのつながりやおもてなしの精神があったりと、精神的な豊かさが豊富なところだと感じた。
- ・サモアの話聞いて‘豊かさ’について深く考えさせられたし、単に物質的な豊かさだけでなく、人とのつながりなどの精神的な豊かさもあるということを知ることができた。
- ・日本もサモアの良いところを真似をすればいいと思う。そしてサモアも日本の良いところを、便利などところを真似していけばいいと思う。
- ・日本人も時間にゆとりがあればもっと笑顔が増えると思う。
- ・自分は物質的な豊かさがなくて生きられないのでサモアでは生きられないなあ～。
- ・サモアに家族の大切さを改めて教わった。
- ・日本人はお金はあっても幸せとは言えないところがあるのかもしれない。

3 使用した教材

〈教材1〉

サモアで幸せに生活するために必要なものTOP5を選ぼう

①スマホ
②家電(テレビ・冷蔵庫・洗濯機)
③宗教
④家族との時間
⑤趣味
⑥のんびり過ごす時間
⑦安定した職業
⑧きれいな水
⑨お金
⑩友人との時間

理由も!

When do you feel happy?
(あなたはどんな時に幸せを感じますか?)

ペア: Play Bingo with my friends
(友達とビンゴをしている時)

ハンナ: Go to school
(学校に行くこと)

ソウワリ: Help my family
(家族の手伝いをしている時)

What's your treasure?
(あなたの宝物は何ですか?)

ペア、ハンナ、ソウワリ: Family

全体を通して

1 所感

全4回の授業を通して感じたことは、生徒たちは「自分が知らないこと、自分たちの生活とかけ離れたこと」に関してとても興味があり、またそれに関してもっと知りたいという気持ちを持っているということだ。生徒たちは私が見たこと・感じたことを意欲的に聞き、途上国の良さと課題を考え感じてくれた。石川県の奥能登で暮らす生徒たちは地元愛に溢れ地域を大事にする子ども達だが、一方で外の世界への目や国際的な視野に立って物事を考えることに関しては苦手なところがある。しかしそれはそのような場面・チャンスが少ないというだけで、きっかけを与えてあげれば生徒たちの目が輝くということを知ることができた。今回の報告授業では、サモアという異世界を身近な人間から聞くことでより理解が深まり、広い世界・様々な価値観を意識できたのではないかと思う。

またサモア人の笑顔や振る舞いから日本で失われつつある「温かさ」や「素直さ」「人とのつながり」を感じ取り、自分たちの生活を振り返って「先進国ってなんだろう」「発展ってなんだろう」ということを考えるきっかけにもなっていた。日本は幸せな国ではあるが、より幸せを感じ、豊かに生きていくためのヒントを得られたと思う。私自身もこの研修を通して、非常に多くのことを学び感じる事ができた。この研修に参加できたことを本当に嬉しく思う。



〈写真2〉ファガ村を出発する日